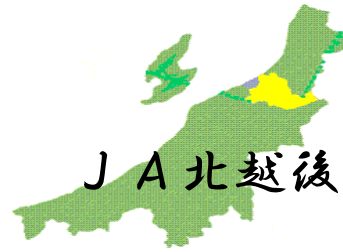


# 高品質・良食味米安定生産 コシヒカリ栽培指針



## コシヒカリ栽培のチェックポイント

- ① 種は4月20日(無加温)、25日(加温)以降とし、2.0~2.2葉の健苗を育成。
- ② 基肥は土壌に応じチッソ成分で3~4kg/10a。穂肥は生育に応じ出穂18日前と10日前の2回分施。
- ③ 5月10日以降の田植えと栽植密度50~60株/坪、1株3~4本植えて、過剰生育抑制。
- ④ 適期中干し・溝切りの確実な実施。
- ⑤ 稲の生育に合わせて適切な水管理…出穂前後25日間の湛水管理。落水は出穂後30日。
- ⑥ 適期収穫で「ゆっくり乾燥」「じっくり調製」で全量1等米仕上げ。
- ⑦ 秋すき込みと堆肥・ソイル元気等、土づくり資材の投入で気象変動に負けない「土づくり」の励行。

「地域差・個人差・年次差変動の少ない  
コシヒカリ・輝く・高品質米を生産します。」

茎数(本/m<sup>2</sup>)

600  
500  
400  
300  
200  
100  
0

【収量構成要素めやす】  
収量 540kg  
m<sup>2</sup>当たり穂数 360本  
1穂粒数 78粒  
m<sup>2</sup>当たり粒数 28,000粒  
登熟歩合 88%

最高分けつ期は6月下旬  
最高茎数は460本/m<sup>2</sup>  
(50株植え⇒30本/株)  
(60株植え⇒25本/株)

茎数の目標

穂数は360本/m<sup>2</sup>  
(50株植え⇒24本/株)  
(60株植え⇒20本/株)

過剰生育型

うまいコシヒカリの基本  
SPAD値は32

葉色の目標

SPAD値

38  
36  
34  
32  
30

ポイント⑥

適期刈取  
&

ポイント①

4月20日以降の  
播種で健苗育苗

ポイント②

基肥：窒素成分で3kg/10a(平場、埴壤土)

土壤改良資材も

ポイント④

適期中干し・溝切りの実施  
目標茎数の8割を確保した

斑点米防止対

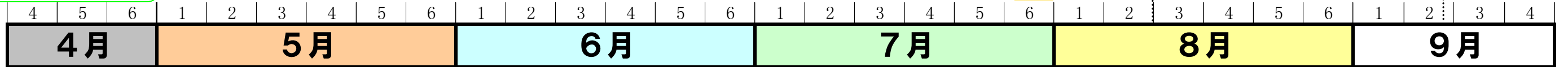
穂肥

-18

-10

出穂

落水



保温的管理

溝切り・中干し

間断かん水

ポイント⑤

出穂前後25日間の湛水管理

落水期

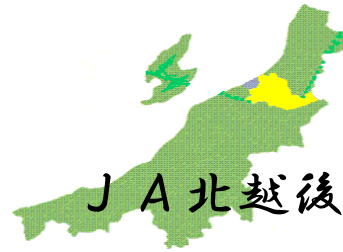
ポイント⑦

堆肥・土壤改良資材の施用

秋すき込みは早めに!



# 高品質・極良食味米安定生産 こしいぶき栽培指針



## こしいぶき栽培のチェックポイント

- ① 播種は4月20日以降とし、2.0~2.2葉の健苗育苗。
- ② 基肥は土壌に応じチッソ成分で3~4kg/10a。
- ③ 5月10日以降の田植えと栽植密度60株/坪。
- ④ 適期中干し・溝切りの確実な実施。
- ⑤ カメムシ類の防除徹底と病害虫の適正防除。  
→ 一斉草刈運動・適期防除。
- ⑥ 穂肥は、出穂23日前と14日前の2回の分施。
- ⑦ 出穂前後25日間の湛水管理。
- ⑧ 落水は、出穂後30日。  
→ 下葉の枯上がり、登熟不良、未熟粒発生防止。
- ⑨ 適期収穫で「ゆっくり乾燥」「じっくり調製」で全量1等米仕上げ。(水分15.0%、整粒歩合85.0%以上。)

消費者ニーズに応えられる

茎数(本/m<sup>2</sup>)

600  
500  
400  
300  
200  
100  
0

### 【収量構成要素めやす】

収量	570kg
m <sup>2</sup> 当たり穂数	400本
1穂粒数	72粒
m <sup>2</sup> 当たり粒数	28,800粒
登熟歩合	90%
玄米千粒重	22.0g
—品質—	
整粒歩合	85.0%以上



ポイント③

5月10日以降の田植え  
【栽植密度】  
60株/坪、3~4本植えで

最高分げつ期は6月下旬  
最高茎数は520本/m<sup>2</sup>  
60株植え⇒28~29本/株

茎数の目標



### 【幼穂形成期の生育めやす】

草丈	55~60cm
茎数	26本/株
葉数	10.7葉

葉色の目標

穂数は400本/m<sup>2</sup>  
60株植え⇒22本/株



### 【成熟期理想生育】

稈長	80cm
穂長	19cm
生葉数	2.5葉

SPAD値

40  
38  
36  
34  
32  
30

うまい「こしいぶき」の基本  
SPAD値は34

ポイント⑨

適期収穫  
丁寧な乾燥・調製



成熟期

ポイント⑩

堆肥  
土壌改良資材の施用  
「秋すき込みは早めに！」

ポイント①  
4月20日以降の播種で健苗育苗

※苗丈は短いので出芽長は1cm程度確保。  
緑化は1日程度長めと

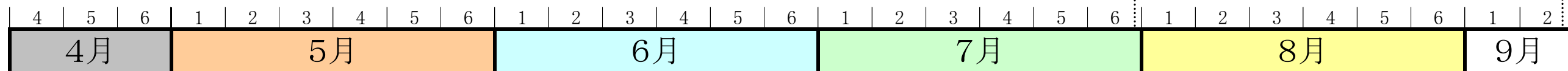
ポイント②  
基肥：窒素成分で3kg/10a(平場、埴壤土)  
但し、砂壤土や黒ボク土圃場は窒素成分で

土壌改良資材も

ポイント⑤  
病害虫の適正防除  
斑点米防止対策  
一斉草刈運動

ポイント⑥  
穂肥  
-23日 N:1.2~  
-14日 N:1.0~

出穂



適正水管理  
※高品質米生産には水管理が極めて重要です。

保温的水管理  
※移植後の活着促進を図る。

水の更新  
※活着後、水の更新で分げつ促進と根の健全化を図る。

溝切り・中干しの実施  
※目標茎数の8割を確保したら中干しに入る。

間断かん水

出穂前後25日間の湛水管理

ポイント⑦

落水

※出穂後30日  
ポイント⑧